

## II 協議事項

### 1 平成29年度運営基本方針（案）

#### 基本目標

公益財団法人日本バレーボール協会の諸施策に基づき、本協会において財政基盤の確立を図りながら、市町村協会、加盟登録団体との緊密な連携を図り、競技力向上及び運営力を強力に推進するとともに各種目別に合った目的の遂行に努める。

バレーボールの普及を通しスポーツの生涯化を推し進め、県民の健康増進と体力の向上を図るとともに21世紀を担う健全な青少年の育成に寄与する。第71回国民体育大会並びに第16回全国障害者スポーツ大会において培った強化事業や役員養成、各種組織体制のノウハウをさらに発展させ、次世代への引き継ぐことに努める。社会体育の中にあつて、学校・企業スポーツによらない新しい枠組みでの、児童生徒らのバレーボールに対する取り組みについて検討を行う。

愛媛国体においては、今年度から正式競技となるビーチバレーボールをはじめ全種別出場を目指し、前年度に引き続き天皇杯得点を獲得できるよう各種別の選手強化を図るとともに指導者の連携および一貫指導体制の強固な体制を形成できるよう推し進める。また全国障がい者大会出場に向け、選手の発掘育成・強化、組織づくりに対し各種の支援を推し進める。

レクリエーションスポーツの更なる普及を図りながらバレーボールファンの拡大、社会貢献の方策を探りバレーボール人口の増加に努める。

インターネットによる各種情報サービスの提供や役員・会員に即時に対応できる環境をより充実させ、社会全般へより強力に広報活動を推進する。

各種大会等の運営に力を注ぐとともに、各業務にあわせた研修会等を積極的に行い、競技運営、強化、指導普及の三位一体の態勢を強固となるよう努力する。

#### 強 化

国民体育大会における天皇杯得点の獲得を目指し、各種別代表の強化を図る。

小学生・中学生・高校生・大学・クラブのより一層の充実発展を期すとともに、連携事業を展開させることにより「チーム岩手」として国体における天皇杯得点獲得を目指す。

#### 指導普及

各種別において個々の目的に合致した講習会及び研修会の指導普及活動を強力に推進する。

公益財団法人日本バレーボール協会の指導のもと、強化事業との連携を図りながら一貫指導体制の確立を目指すとともに、公認スポーツ指導者の資質向上を目指し、有資格者のネットワークを構築する。若年層のクラブチーム組織化について情報収集、研究を行い本県にふさわしい活動環境の提供に努める。

#### 審 判

バレーボール技術向上に寄与する審判員の資質向上と、若手審判員の発掘及び養成を図る。有資格者による審判員随行制の徹底を図るとともに、更なる技術向上を図る。

#### 財 政

健全かつ拡大財政の方針を継続し、各種事業の趣旨・目的に合致した効果的な執行に努める。

財政基盤の充実・強化を図るための方策を検討するとともに、協会員をはじめ広く県民に対し支援が得られる内容を研究していく。